

50611

教科書文庫

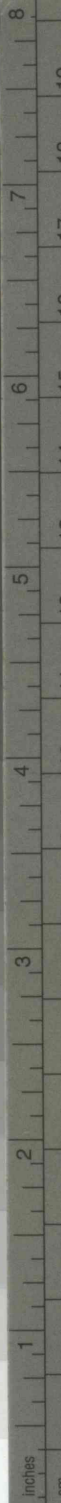
5
760
34-1947
26000 67187



Kodak Gray Scale

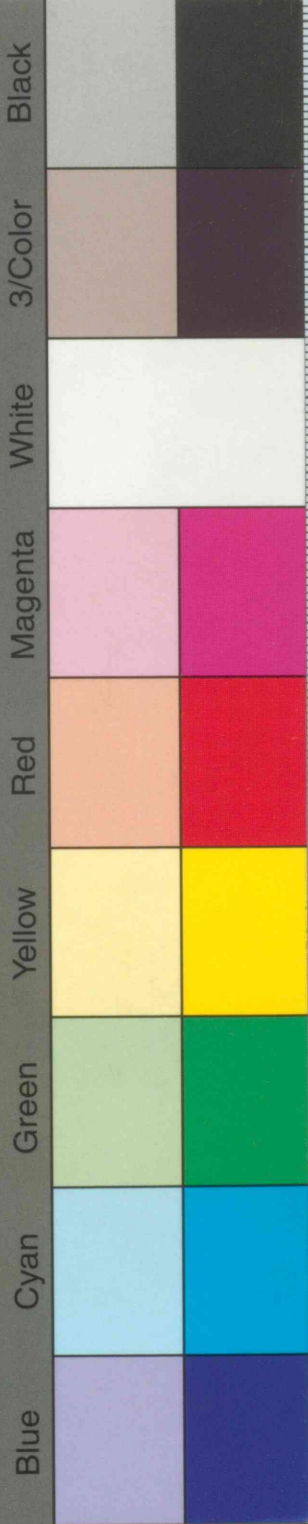
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

© Kodak, 2007 TM: Kodak



Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak



# 五年生の音楽

3a  
760  
昭22(土)



文 部 省

3a  
760  
BB22(t)

資料室

# 五年生の音楽



文 部 省

もくろく

一	春	②	2
二	楽しいこきょう	①	4
三	こいのぼり	②	6
四	朝の月 三部	①	10
五	雨だれ	②	12
六	夏は来ぬ 三部	②	14
七	元気でいこう 物叻	①	18
八	ゆめ	①	20
九	まきばの朝	②	24
十	赤とんぼ	①	28
十一	こきょうの人々 三部	②	30
十二	ほうねん	①	34
十三	秋の山	②	36
十四	ねむれよ 三部	①	39
十五	スキー	②	42
十六	とうだいもり 物 三部	①	44
十七	冬景色 八 三部	②	47
十八	ゆうびん	①	50
十九	海 三部	②	53
二十	春まつ心	①	56
二十一	おちつばき	②	59
二十二	野ばら 三部	①	60



オ - ボ -



# 楽しいこきょう

作詞 勝 承夫  
作曲 オーストリア民謡

♩=104

一 たの しい こ きょう みどりの な み  
二 かけ ろう も え る みどりの お か  
三 たの しい こ きょう みどりの そ ら

ひばりとび たつむぎ のむらだ  
はる ははな さくもものむらだ  
のぞみあふれるゆめのむらだ

二 楽しいこきょう

一 楽しいこきょう、みどりの波、  
ひばりとびたつ麦の村だ。

二 かけろうもえるみどりの丘、  
春は花さくももの村だ。

三 楽しいこきょう、みどりの空、  
のぞみあふれるゆめの村だ。

こいのぼり

作詞 不明  
作曲

♩ = 96

*mf*

い - ら - か の な - み - と  
も - も - せ の た - き - を

*mf*

く - も - の な み か - さ - な る  
の - ぼ - り な ば た - ち - ま ち

な - み - の な - か - ぞ - ら  
りゅう - に な - り - ぬ - べ

*mp*

を き た ち は な か - お - る  
わ が み に に - よ - や

*mp*

あ さ - か せ に た か く  
お の - こ じ と そ ら に

*f*

お - よ - ぐ や こ い - の ぼ り  
お - ど - る や こ い - の ぼ り

三 こいのぼり



ニ  
バン  
ン  
イ

一 いらかの波と雲の波、  
重なる波の中空を、

たちばなかおる朝風に  
高くおよぐや、こいのぼり。

二 百瀬のたきをのぼりなば、  
たちまちりゆうになりぬべき  
わが身によやおのこ子と、  
空におどるや、こいのぼり。

# 朝の月

作詞 勝 承 夫  
作曲 外 國 曲

♩ = 120  
mf

二 あ け わ た る に し の や ま に ほ  
二 と お や ま の ゆ き も き え て は

の か に か か る よ あ さ の つ き  
る か に わ た る よ あ さ の か き ぜ

こ と り も さ え ず り こ こ ろ も う き た つ か  
あ ま ど を く り つ つ な が め る み そ ら に あ

mp mf

す む そ ら に ゆ め の よ う  
さ の つ き は ゆ め の よ う

## 四 朝の月

- 一 あけわたる西の山に  
ほのかにかかるよ、朝の月。  
小鳥もさえずり、心もうきたつ、  
かすむ空に ゆめのよう。
- 二 遠山の雪も消えて  
はるかにわたるよ、朝の風。  
雨戸をくりつつながめるみ空に  
朝の月は ゆめのよう。



# 雨だれ

作詞 岩佐東一郎  
作曲 メーヤー

♩=100

*mf*

一あまだれがおちているまど  
二あまだれのおとがするめを

*mf*

のそとののきばからみているときれ  
ばつぶりみみすましきいてるとたの

*mf*

いだなすいしょうのたまだね  
しいなピアノひくおとだね

二 雨だれの音がする。

目をばつぶり、耳すまし、  
きいてるとたのしいな、  
ピアノひく音だね。

五 雨だれ

一 雨だれが落ちている、  
まどのそとののきばから、  
みているときれいだな、  
すいしょうの玉だね。

# 夏は来ぬ

作詞 佐々木信綱  
作曲 小山作之助

$\text{♩} = 100$   
*mp*

一うのはなのにおうかきねに  
二さつきやみほたるとびかい

ほととぎすはやもきなきて  
くいななきうのはなさきて

*mf*

しのびねもーらーすな  
さなえうえーわたすな

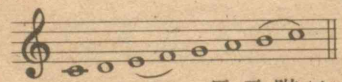
*f*

つーはきぬ  
つーはきぬ

六 夏は来ぬ

一 うの花のにおうかきねに、  
ほととぎす早も来鳴きて、  
しのび音もらす 夏は来ぬ。

二 さ月やみ ほたるとびかい、  
くいな鳴き、うの花さきて、  
さなえうえわたす 夏は来ぬ。



これをハ調長音階  
といいます。長音階は、はじめの音から順  
に上へ、ドレミファソラシド と呼びます。  
ハニホヘトイロを音名といい、ドレミ……  
を階名といいます。音名と階名とは、どう  
いう点がちがうでしょう。



ピオラ

# 元氣でいこう

作詞 岡本敏明  
作曲

♩=92

一 わかくさ もえて はるのひ うらら  
かぜはそ よぐよ  
むしはす だくよ  
こがらし ふくよ

一 わかくさ もえて  
二 のべはかがやき  
三 そらすみわたり  
四 ゆうひはひくく

げんきでいいこう  
げんきでいいこう  
げんきでいいこう

はるののの  
なつきののの  
あふゆののの

はかむこ  
るせしが  
のははら  
ひそすし  
うよたふ  
らぐくく  
らよよよ  
げんきで  
ききき  
んんん  
げげげ

1.2.3. 4.  
二のべはかがやき こみちを  
三そらすみわたり  
四ゆうひはひくく

はるののここ  
なつきののここ  
あふゆののここ

みちをを  
みちをを  
みちをを

ふゆのこみちを

七 元氣でいこう

一 わか草もえて、春の日うらら。  
元氣でいこう、春の小道を。

二 野べはかがやき、風はそよぐよ。  
元氣でいこう、夏の小道を。

三 空すみわたり、虫はすだくよ。  
元氣でいこう、秋の小道を。

四 夕日はひくく、こがらしふくよ。  
元氣でいこう、冬の小道を。

ゆ め

作詞 不明  
作曲

♩=84

First system of musical notation on page 20, featuring a vocal line and piano accompaniment.

Second system of musical notation on page 20, including a vocal line and piano accompaniment.

Third system of musical notation on page 20, including a vocal line and piano accompaniment.

First system of musical notation on page 21, including a vocal line and piano accompaniment.

Second system of musical notation on page 21, including a vocal line and piano accompaniment.

Third system of musical notation on page 21, including a vocal line and piano accompaniment.

八 ゆめ

一 金の自動車にとびのると、

はしるよ、はしるよ、どこまでも、

大きな道をまっしぐら、

とうとうがけからさがさまに

おちたと思えば、ゆめだった。

二 銀のボートにとびのると、

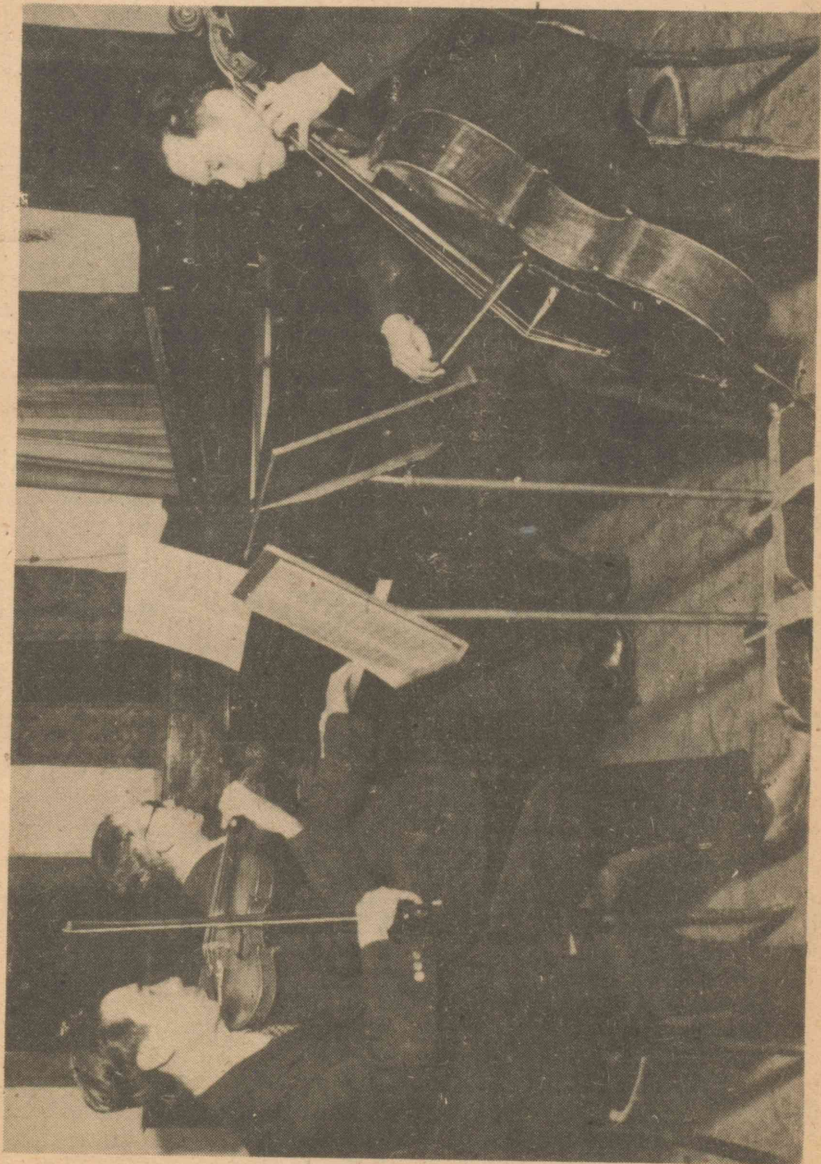
はしるよ、はしるよ、どこまでも、

重なる波をのりこえて、

とうとう絵のようなりゆう宮へ

ついたと思えば、ゆめだった。

二つの音のへだたりを音程といいます。  
ミ(ファ)やシ(ド)の音程を半音といい、  
ド(レ)やレ(ミ)の音程を全音といいます。  
長音階の中の全音と半音とを調べてみま  
しょう。



ピアノ三重奏

# まきばの朝

作詞 不明  
作曲 不明

♩ = 132

First system of musical notation on page 24, featuring a vocal line and piano accompaniment in 4/4 time.

Second system of musical notation on page 24, featuring a vocal line and piano accompaniment.

Third system of musical notation on page 24, featuring a vocal line and piano accompaniment.

First system of musical notation on page 25, featuring a vocal line and piano accompaniment.

Second system of musical notation on page 25, featuring a vocal line and piano accompaniment.

Third system of musical notation on page 25, featuring a vocal line and piano accompaniment.

九 まきばの朝

- 一 ただ一面に立ちこめた まきばの朝のきりの海。  
ポプラなみ木のうつすりど 黒いそこから勇ましく  
かねがなるなる、カンカント。
- 二 もう起きだした小屋小屋の あたりに高い人の声。  
きりにつつまれ、あちこちに、動くひつじのいくむれの  
すずがなるなる、リンリンと。
- 三 今さしのぼる日のかげに ゆめからさめた森や山。  
あかい光にそめられた 遠い野ずえに、ぼくどうの  
ふえがなるなる、ピイピイと。

ろいそこ かくのい さまく ましれ くの か  
こお いくひの づえにほ くとう の の すすふ

ねがな一なる なるる カン カン ととと  
ずがな一なる なるる リン リン  
えがな一なる なるる ピイ ピイ



# 赤とんぼ

作詞 三木露風  
作曲 山田耕作

♩ = 60

Piano introduction in 3/4 time, key of B-flat major. The music starts with a treble clef staff containing a whole rest, followed by a grand staff with a piano accompaniment. Dynamics include *p dolce*, *mf*, and *f*.

Vocal melody and piano accompaniment for the first verse. The vocal line is in a treble clef, and the piano accompaniment is in a grand staff. Dynamics include *p* and *mf*. A fermata is placed over the final note of the vocal line.

Vocal melody and piano accompaniment for the second verse. The vocal line is in a treble clef, and the piano accompaniment is in a grand staff. Dynamics include *mf* and *p*.

Piano accompaniment for the end of the piece. It consists of a grand staff with dynamics *mf*, *p*, and *poco rit.*

十 赤とんぼ

一 タやけ小やけの 赤とんぼ、  
おわれて見たのは いつの日か。

二 山の畠で くわの実を、  
小かごにつんだは まぼろしか。

三 タやけ小やけの 赤とんぼ、  
とまっているよ さおのさき。

# こきよりの人々

作詞 勝 承夫  
作曲 フォスター

♩ = 72

First system of musical notation on page 30, featuring a vocal line and piano accompaniment in 4/4 time.

Second system of musical notation on page 30, including lyrics and piano accompaniment with dynamic markings *p* and *rit. e. dim.*

Third system of musical notation on page 30, including lyrics and piano accompaniment.

First system of musical notation on page 31, including lyrics and piano accompaniment with a fermata over the vocal line.

Second system of musical notation on page 31, including lyrics and piano accompaniment with dynamic marking *mp*.

Third system of musical notation on page 31, including lyrics and piano accompaniment with a fermata over the vocal line and dynamic marking *rit.*

ちちはいます ながきとし つきた  
はは一のもとに

びにあれば おお つかれし

わがむね ふぼをしたうよ

*a tempo.*

*rit.* *a tempo.*

十一 こきょうの人々

一 はるかなるスワニー川、その下、  
なつかしのかなたよ、わがふるさと。  
旅空のあこがれはてなく、思いつづふるさと、父母います。

〔合唱〕 ながき年月 旅にあれば、  
おお、つかれしわが胸、父母をしたうよ。

二 あせ道さすらいしおもいで、  
はらからと遊びし樂しき日。  
夢あまき歌声、むなしや、おお、ゆきて暮さまし、母のもとに。  
〔合唱〕（くりかえし）

# ほうねん

作詞 不明  
作曲 スペイン民謡

♩=88

一 ふか ねて なびく よみ わたす かぎり  
二 こぼ ねて いずる よか らうす ひけば  
三 うと うよ おどる よい ずこ のひと も

サ ヤ サ ヤ ソ ヨ ソ ヨ あ き た の か ぜ に  
カ ラ カ ラ コ ロ コ ロ お む し ろ の う え に  
ハ ハ ハ ハ ホ ホ ホ ホ う れ し き に わ に

か り た る い ね を ば くる ま の ー う ー え に  
し あ げ し こ め を ば た わ の ー う ー ち に  
お と な も こ ど も た の し き ー に ー わ に

う れ し や た の し し や こ と し の み の り  
う れ し し や た の し し や こ と し の み の り

三  
うれしや、楽しや、ことしのみのり。  
うとうよ、おどるよ、いずこの人も、  
ハハハハ、ホホホホ、うれしき庭に、  
おとなも、こどもも、楽しき庭に、  
うれしや、楽しや、ことしのみのり。

二  
こぼれていずるよ、からうすひけば、  
カラカラ、コロコロ、むしろの上に、  
しあげし米をばたわらのうちに、  
うれしや、楽しや、ことしのみのり。

一  
ふかれてなびくよ、見わたすかぎり、  
サヤサヤ、ソヨソヨ、秋田の風に、  
かりたる稲をば、車の上に、  
うれしや、楽しや、ことしのみのり。

## 十二 ほうねん

# 秋の山

作詞 岩佐東一郎  
作曲 スコットランド民謡

♩ = 92

First system of musical notation on page 36, featuring a vocal line and piano accompaniment in 2/4 time.

Second system of musical notation on page 36, featuring a vocal line and piano accompaniment.

Third system of musical notation on page 36, featuring a vocal line and piano accompaniment.

Fourth system of musical notation on page 36, featuring a vocal line and piano accompaniment.

一 みんなの すきな あきがきた よ  
二 はるかの えだで とりがなく よ

Fifth system of musical notation on page 36, featuring a vocal line and piano accompaniment.

First system of musical notation on page 37, featuring a vocal line and piano accompaniment.

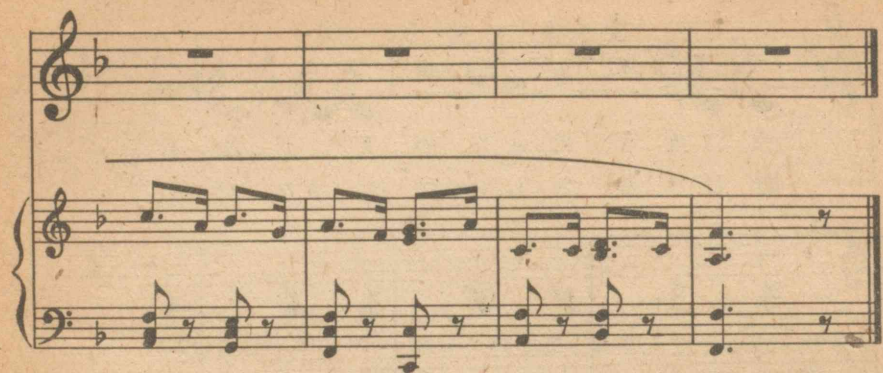
うたをう たってやまにのぼる  
ひびきやさしいたにのながれ

Second system of musical notation on page 37, featuring a vocal line and piano accompaniment.

ちみじい ちめんみねもたにもあ  
はやしをぬけてあしもかるくゆ

Third system of musical notation on page 37, featuring a vocal line and piano accompaniment.

おぞらのどかにながれるくも  
うやけあかーいやまをくだる



十四 ねむれよ

- 一 ねむれよ、かわいい子。  
 ひつじがみんな はねてはかける。  
 とろり ねむれよ。
- 二 ねむれよ、かわいい子。  
 ひつじは草に つかれてころり。  
 とろり ねむれよ。
- 三 ねむれよ、かわいい子。  
 ひつじもねんね、朝までねんね。  
 とろり ねむれよ。

この唱歌は、ヘ長調で書いてあります。ト音記号の次の  $\flat$  はフラットといつて、音を半音下げるしるしです。フラットはどの音についていますか。またフラットのつけられたわけを考えてみましょう。

十三 秋の山

- 一 みんなのすきな 秋が来たよ。  
 歌をうたって 山にのぼる。  
 もみじいちめん みねも、谷も、  
 青空のどかに 流れる雲。
- 二 はるか枝で 鳥が鳴くよ。  
 ひびきやさしい 谷の流れ。  
 林をぬけて、足もかるく、  
 夕やけ赤い 山をくだる。

ねむれよ

作詞 岩佐東一郎  
作曲 外國曲

♩ = 60

mp

ねむれよ  
ねむれよ  
ねむれよ

*p dolcissimo.*

ア - - -

*mp* *poco rit.*

*mf*

か わ い い ー ひ つ じ か  
か わ い い ー ひ つ じ は  
か わ い い ー ひ つ じ も

ア - - -

*mf*

*mp*

み ん な は ね て は か け る  
く さ に つ か れ て こ ろ り  
ね ん ね あ さ ま で ね ん ね

ア - - -

*mp*

*p* *pp*

と ろ り ね む れ よ  
と ろ り ね む れ よ  
と ろ り ね む れ よ

ア - - -

*pp*

スキー

作詞 岩佐東一郎  
作曲 イギリス民謡

♩ = 100  
mf

一 すべるよ すべるゆき のやまを ス  
二 すべるよ すべるゆき のおかを ス

f

キーははしるはしるはしる ゆー  
キーはとぶよとぶよとぶよ ジャー

mf

きけむりあげてはやしをぬけてス  
ンプもみごとにふもとをめぐらせ

ピードだしてすべるすべる  
ピードだしてすべるすべる

一 すべるよ、すべる、雪の山を、  
スキーははしる、はしる、はしる。  
雪けむりあげて、林をぬけて、  
スピードだして、すべる、すべる。

二 すべるよ、すべる、雪の丘を、  
スキーはとぶよ、とぶよ、とぶよ。  
ジャンプもみごとにふもとをめぐらせ、  
スピードだして、すべる、すべる。

十五 スキー



どうだいもり

作詞 勝 承夫  
作曲 イギリス曲

$\text{♩} = 120$   
*mf*

こ お れ る つ き か げ そ  
は お げ し き あ め か ぜ き

う だ い ま も る ひ と の と  
う だ い ま も る ひ と の と

ふ ゆ の あ ら な み よ  
ま な す あ ら な み た

す る お じ ゃ ま お も え よ と  
け り く る う そ の よ も と

う だ い ま も る ひ と の と  
う だ い ま も る ひ と の と

う と き や さ し め あ  
う と き ま さ し め あ

いみのをこてこらす

一 こおれる月かげ 空にさえて、  
 ま冬のあら波 よする小島。  
 思えよ、とうだいまもる人の  
 とうとき やさしき愛の心。

二 はげしき雨風 北の海に、  
 山なすあら波 たけりくるう。  
 その夜も、とうだいまもる人の  
 とうとき 誠よ、海をてらす。

# 冬景色

作詞 不明  
 作曲 不明

♩ = 100

## 十六 とうだいもり

mf

一 さ ぎ り き ゆ る み な と え の  
 二 か ら す な き て き な た か く

mf

三 さ ぎ り き ゆ る み な と え の  
 三 か ら す な き て き な た か く

ふねにしろしあさのしも  
ひとははたにむぎをふむ

ただみずとりのこえはしや  
たげにこはるびののどけしや

いまださめずきしのいえ  
かえりさきはなもみゆ

十七 冬 景色

一 さぎり消ゆるみなとえの  
船に白し、朝のしも。  
ただ水鳥の声はして、  
いまださめず、岸の家。

二 からす鳴きて木に高く、  
人は畑に麦をふむ。  
げに小春日ののどけしや、  
かえりさきの花も見ゆ。

ゆうびん

作詞 勝 承夫  
作曲 ドイツ民謡

♩ = 112

*f*

一 なみきの かどの あかい ポスト  
二 なみきの かどの あかい ポスト

あらしの よるも あめのひも  
みぞれの よるも ゆきのひも

*mf*

みんなの てがみ おなかに つめて  
じかんが くと おなかを あけて

*mf*

だいじに まもる あかい ポスト  
ゆうびんや さーん はこんで くれる

*mp*

わたしの てがみ たのんだ よ  
ほんとにほんとに ありがとう

*mf*

海

作詞 不明  
作曲

♩=84

一まつばらとおく きゆる ところ  
二しまやま やみに しるき あたり

しらほのかげはうかぶ  
いさりびひかりあわし

十八 ゆうびん

一 なみ木のかどの 赤いポスト、  
あらしの夜も、雨の日も、  
みんなの手紙 おなかにつめて、  
だいにじに守る 赤いポスト、  
わたしの手紙、 たのんだよ。

二 なみ木のかどの 赤いポスト、  
みぞれの夜も、雪の日も、  
時間がくると おなかをあけて、  
ゆうびんやさん、はこんでくれる、  
ほんとに、ほんとに、ありがとう。

この唱歌は、ト長調で書いてあります。ト音記号の次の#はシャープといつて音を半音上げるしるしです。ここでは、へ音にシャープがついていますが、なぜでしょう。わけを考えてみましょう。

*mf*

ほしあみ はまに たかくし て  
 よるなみ きしに ゆるくし て

*mf*

かもめは ひくく なみにと ぶ  
 うらかぜ かろく いさごふ く

みよひるのうみ  
 みよよるのうみ

*p*

*mf*

みよひるのうみ  
 みよよるのうみ

*mf*

十九 海

一 まつ原遠く消ゆるところ、  
 白ほのかげはうかぶ。  
 ほしあみはまに高くして、  
 かもめはひくく波にとぶ。  
 見よ、晝の海。

二 島山やみにしるきあたり、  
 いさり火 光あわし。  
 よる波岸にゆるくして、  
 うら風かろくいさごふく。  
 見よ、夜の海。  
 見よ、夜の海。

春まつ心

作詞 勝 承夫  
作曲 フランス民謡

♩.=58

一いつもたのしいはるまつこーこ  
二いつもたのしいはるまつこーこ

*p dolce.*

ろーももーのつーほみもい  
ろーおかーにのーほればあ

*mf*

ろーづくーころはむぎーのはーた  
おぞらはーるかにやまーもかーが

けにおくーゆききえてあ  
やきことーりもうたいき

かるいひざしむらーをつつむー  
ぼうのひかりむねーをつつむー

*f*

# おちつばき

作詞 吉丸一昌  
作曲 ウェーバー

♩=88

*f.* *mf*

一 ポタリ つちのうえに ちいさなお  
二 ポタリ またきこえる あまどをあ

*f.* *mf*

と一がこ ろがりおち たはて  
け一てよ くよくみ れば ハッ ハッ

*f.* *p*

な な一にが一おち た  
ハ つ一ばき一のは な

## 二十 春まつ心

一 いつも楽しい春まつ心、

もものつぼみもいろづくころは、

麦のはたけにおく雪きえて、

あかるい日ざし、村をつつむ。

二 いつも楽しい春まつ心、

丘にのぼれば、青空はるかに、

山もかがやき、小鳥もうたい、

きぼうの光むねをつつむ。

ト音記号やヘ音記号の次にあるシャープやフラットを調子記号といいます。



# 野ばら

作詞 勝 承夫  
作曲 ウェルナー

♩=126

一 わらべ—は みたり のなか—の ばら  
二 わらべ—は よりぬ のなか—の ばら  
三 わらべ—は おりぬ のなか—の ばら

あしたの のべに きよら—に かおる  
とわの なげきを とげに—ひ め—し  
あどけな きこは はなの—お もいも

この唱歌は、ニ長調で書いてあります。シャープのついている音をしらべましょう。  
また、シャープの二つあるわけを考えてみましょう。

ゆめの—は なよ くれ ない  
はなの—あ われ くれ ない  
しらで—つ みぬ くれ ない

も—ゆる やさしの ば—ら  
に—おう いとしの ば—ら  
か—なし ちいさき ば—ら

五年生の音楽

(教師使用分)

Approved by Ministry of Education

(Date May. 13, 1947)

昭和廿二年五月廿七日 翻刻印刷

昭和廿二年六月五日 翻刻発行

(昭和廿二年五月廿七日 文部省検査済)

著作権所有 著者兼文部省  
発行者

東京都文京区久堅町一〇八番地

翻刻発行  
兼印刷者 日本書籍株式会社

代表者 大橋進一

東京都文京区久堅町一〇八番地

印刷所 日本書籍株式会社

発行所 日本書籍株式会社

二十一 おちつばき

一 ポタリ、土の上に、

小さな音が ころがり落ちた。  
はてな、なにが落ちた。

二 ポタリ、またきこえる。

雨戸をあけてよくよく見れば、  
ハッ、ハッハ、つばきの花。

二十二 野ばら

一 わらべは見たり、野中のばら。

あしたの野べに、きよらにかおる  
ゆめの花よ。

二 わらべはよりぬ、野中のばら。

とわのなげきを とげにひめし  
花のあわれ。

三 わらべはおりぬ、野中のばら。

あどけなき子は、花の思いも  
知らてつみぬ。

くれないかなし、小さきばら。

